

青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

令和5年度入学式が 挙行されました

去る四月一日に令和5年度入学式を挙行いたしました。黒川・波多津の両小学校から、計三四名の新入生を迎え、全校生徒百二名での新しいスタートを切りました。新型コロナウイルスが少しずつ沈静化の兆しを見せる中、在校生と制限を設けながらも来賓をお招きしての式となりました。式辞では次のような話をしました。

ようこそ青嶺中学校へ。本校の開校以来の校訓である「学ぶ心、鍛える心、磨く心」を通して、大いに人と交流して様々な考え方にふれてほしい。そして自分の考えを見直し互いに高め合って成長してほしい。中学校生活が充実した思い出深い豊かな時間になるよう心から願っています。

「水尾育友会会長より」

WBCで活躍した大谷選手は自分の目標に誠実であることの大切さを語っています。自分が好きな事、夢中になれることを中学校では是非見つけてほしい。その好きな事に人一倍誠実になつてほしい。そうすれば素晴らしい未来につながります。

人生の先輩からの熱いメッセージを送っていただきました。

「歓迎の言葉 生徒会副会長 長前田真歩さんより」

中学校は皆さんが思っている以上に楽しく、明るくて活気あふれる魅力的な所です。きつと楽しい時間を過ごせるでしょう。先輩方から受け継がれてきた立礼挨拶、自問掃除等の「青嶺ブランド」を意識しましょう。すべての活動に「自分から・前向きに・意志をもって」挑戦していきましよう。

先輩らしい優しさと力強さを兼ね備えた素晴らしい歓迎の言葉でした。

「誓いの言葉 栗原航希さんより」

それぞれの小学校で学んできたことを生かし、今日からは校訓である「学ぶ心、鍛える心、磨く心」を常に意識し学習や行事に取り組んでいきます。そしてどんな事にもあきらめず、挑戦し続けられるように努力します。

しっかりと前を見て、はつきりと言葉を発する姿に、頼もしさを感じました。

迎える側も、迎えられる側もそれぞれに一生懸命に、心を尽くして準備したことが伺える、心温まる、素晴らしい式になりました。

会場準備の時に昼休みのシート敷きに生徒たちが自主的に参加してくれました。それ以外にも主体的に考え、動く場面が多く見られました。本当に素晴らしい生徒たちです。これからの成長が楽しみでなりません。



入学式の余韻も冷めやらぬまま一年生は昨日から給食が始まり、慣れない準備に大わらわ。その様子を眺めていたら…

二年生の教室の前を通った一年生に「がんばれ」の掛け声をする二年生。重い食器や食缶を運ぶ下級生への自然なエールに思わずほっこり。

また、三年生は重いお盆を運ぶお手伝いも。

きつと一年生は心強く感じたことでしょう。そして自分たちがしてもらったことを、上級生になったときに、また下級生にしてあげてほしい。そうして過ごしやすい学校が伝統的に創られていくでしょう。青嶺中学校の素晴らしさをまたひとつ、実感した出来事です。

校長室より

生徒会オリエンテーションで

昨日の3校時に体育館で新入生向けの生徒会オリエンテーションが催されました。活動の内容や方針を分かりやすく伝えようと、プレゼンテーションや実演など生徒会役員たちが工夫し、一年生は真剣に耳を傾けています。

その後半での出来事です。各部の紹介が終わり、さすがに疲れの見える生徒たち。そこで司会から「ではこれからレクリエーションをします！」と一言。

最初は「言葉を使わずに、誕生日順に輪になる」というゲームでしたが、スタートの掛け声で戸惑いながらも動き回る生徒・教師でしたが、指や顔の動きなどでコミュニケーションを取りながら、全校生徒と職員が制限時間内に輪を作ることができました。答え合わせの時に数名が違っていてもそこはご愛敬、和やかな笑いに包まれました。

二つ目は何と「校長先生クイズ」！生徒会で予め準備してくれたクイズの答えを全員で予想して動き、校長が答えるというレクリエーションでした。司会が上手に盛り上げ、正解の発表に一喜一憂：生徒たちの前で人となり話す機会を準備してくれた生徒会の優しさで心遣いに感謝です！